ファーストペンギン通信

第５号
発行日
2024年
5月 18日
（土）
発行人
八王子実践
中学校
教頭
石川敦史

フラ・コンペティション出場

ピリナとは
「つながり」の意味

「カ・ピリナ・フラ・フェスティバル2024」にて

令和6年4月27、28日に、東京都多摩市のパルテノン多摩で開かれました。

このコンペティションはハワイと日本、全世代のフラダンサーのために創設されたものです。

団体部門で優勝

個人部門と団体部門があり、それぞれの部門で年齢に応じてエントリーが行われます。

本校2年生の柴田瑠理花さんは、13～49歳の人が出場する団体部門に出場し、みごと、優勝の栄冠を勝ち取りました。

柴田さんのいるグループは総勢９名（大学生２名、高校生４名、中学生３名）でレイ・ロケラニという踊りを披露してくれました。

フラとの出会い

柴田さんは、ハワイに住んでいらっしゃったお母さんの影響で４歳からフラに興味を持ち、練習をはじめました。週に２回練習をします。一回の練習は１時間半くらいですが、５時間に及ぶこともあるそうです。

フラを練習することで、ハワイの知識を得ると同時に、達成感を味わい、表現力も身に着けています。

これからの抱負としては、ソロで踊ることと、自分の経験を後に続く人々の役に立てることだそうです。

将来、ハワイで開かれる発表会で踊る自分の姿を想像しながら、練習にいそしんでいます。

令和６年度学校目標

「ケセラセラ～なるようになる～」

「何もしなくても、なるようになるから、くよくよするな」という意味を思いつく人もいらっしゃるかもしれません。しかし、この「ケセラセラ」はちょっと違います。

本来は「くじけずに頑張っていけば、きっと頑張りが報われるよ」という意味であり、強めの励ましの気持ちが込められている言葉なのです。

「くじけずに頑張れ、そうすればきっと報われる～ケセラセラ」を学校目標に掲げた生徒たちは非常に前向きなのです。この気持ちで毎日を過ごせば、きっと、より素晴らしい１年間になるはずです。

フラとフラダンスの違い

フラダンスとはタヒチのダンスがベースになった観光向けのショーダンスのことです。テンポが速く、腰の動きの多い踊りです。

一方、**フラ**はゆったりとしたテンポで、手の動きがメインの踊りです。ハワイ語で「フラ」は「踊り」を意味します。昔、ハワイでは文字が使われていなかったので、神々に祈るときや、歴史や経験を伝えるときに、フラが使われました。

自然に感謝するとき、嬉しいとき、大切な人を亡くしたときなど、大切な思いを表現するときに、踊られます。